

共通算定モジュールの概要

- 共通算定モジュールは、レセコンから要求された診療報酬点数と患者負担金の計算を行う機能を共通で利用できる統一プログラム。診療報酬改定の度に生じるプログラム改修の一元化を通じ、医療機関の負担軽減を図ることを目的としている。**本年（令和8年）6月から医科・DPC向け共通算定モジュールの運用を開始した。**
- 共通算定モジュールは、クラウド型レセコンでの利用を基本としており、共通算定モジュールと接続するレセコンを導入する医療機関から、順次、利用が可能。当面、予期せぬ不具合等が生じた場合の影響を最小限にとどめるため、不具合等が生じた場合に既存の計算プログラムに切替可能な状態を維持し安定性等を確認。徐々にクラウド型レセコン（共通算定モジュール）の利用を広げていく。
- レセプトの請求前のチェックと請求処理を行う請求支援機能を追加実装し、令和10年度の運用開始を目指して現在設計、開発中。
(※) 労災の共通算定モジュールも、令和10年度の運用開始を目指し、令和8年度中に設計・開発に着手予定。

共通算定モジュールによる負担軽減のイメージ

